

一人前の
妖苗さん

ADULT ONLY





随分とまあ
大きなあくびで

.....
ふあ



ご主人に
コレ食べさせて
早く眠らせちゃいなよ

それじゃあ
この眠り団子を
あげようか？

かさ...



ウチの薬は
ないもの
ないよ

そんな物まで
あるのね...

どっちの
意味で？



最近、
幽々子様が毎晩
夜更かししてて...

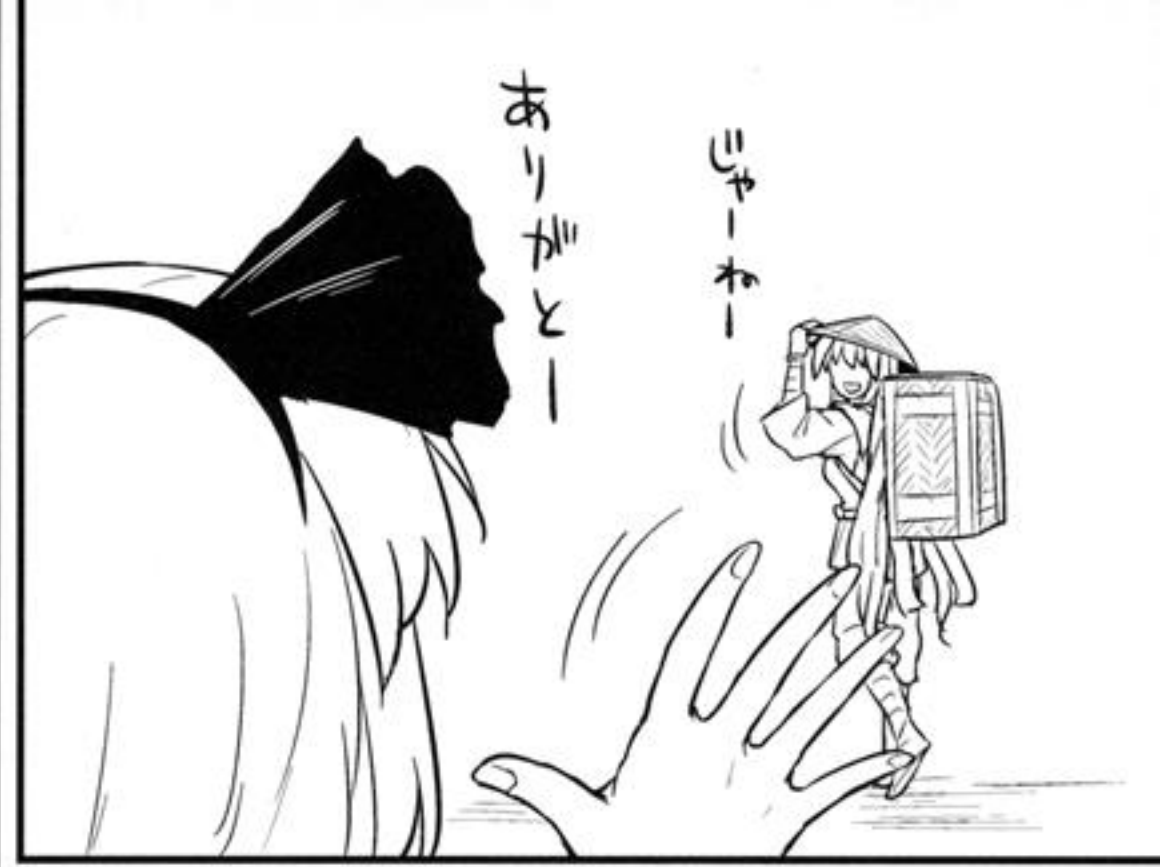
そのせいで
夜の見回りが
延長続きでさー...

なるほどねー



むむ...

パン...



ミヤコ

おーおー



うーん...
幽々子様に
効くかなあ？



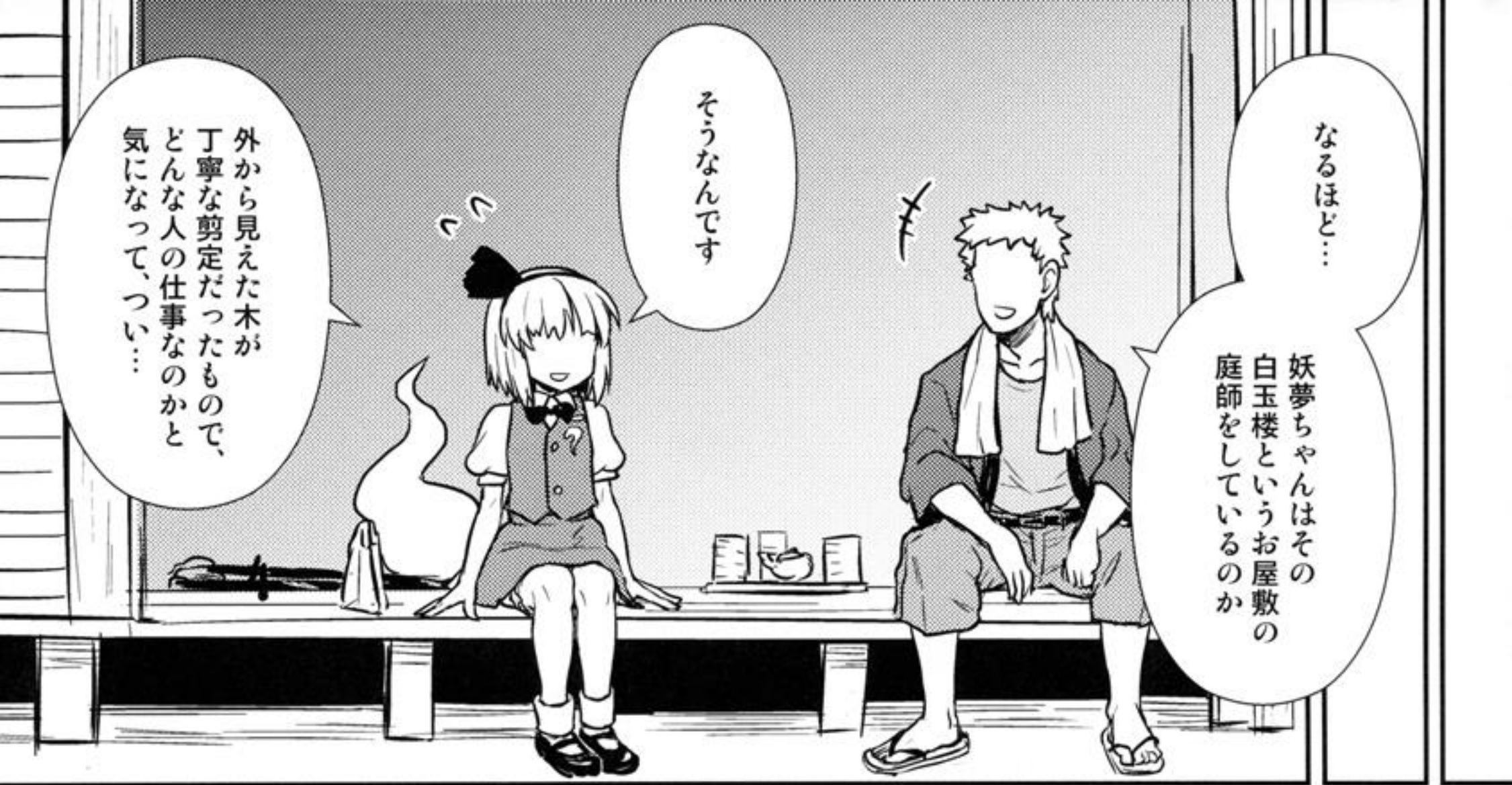
なかなかの
剪定技術...
ハサミの
音がする...

パン...



パン...

パン...



なるほど…

妖夢ちゃんはその
白玉楼というお屋敷の
庭師をしているのか

そうなんです

外から見えた木が
丁寧な剪定だったもので、
どんな人の仕事なのかと
気になって、つい…



スヤッ

あつ…



あ、覗いたお詫びと
言っただけなんです…
良かったらこのお団子、
お茶請けにどうぞ

スス…

えっ、いいの？
団子好きなんだよ



怖い人じゃ
なくてよかった…

そういえば
なんか忘れてる
ような…

スス…



おにいさん！
起きてくださいー！

ズズズ...

……
ダメか……



しまった……
すっかり忘れて
振る舞ってしまった……

というか……
ホントに
効くんだなあ

ズズズ……



ドキ、ドキ

ズズズ……

うう……
完全に私のせいだし
仕方がないとはいえ……

自分の意志で男の人に
こんなに密着したのは
はじめてかも……



しばらく
起きそうにないし

上がらせて貰って
お布団に寝かせよう

ズズズ……



……ハッ!?
この状況…今なら
知りたかった事を知る
チャンスなのでは…!?



も…もうちょっと
ベタベタしても
いいよね…♡



今日の妖夢は
悪い子です…♡



お…おにいさん、
ごめんなさい…♡



お:
おちんちん:

ポロン!

おおお:
おちつくのよ
妖夢!

あ:意外に
やわらかい...?

おちんちん!
おちんちん!

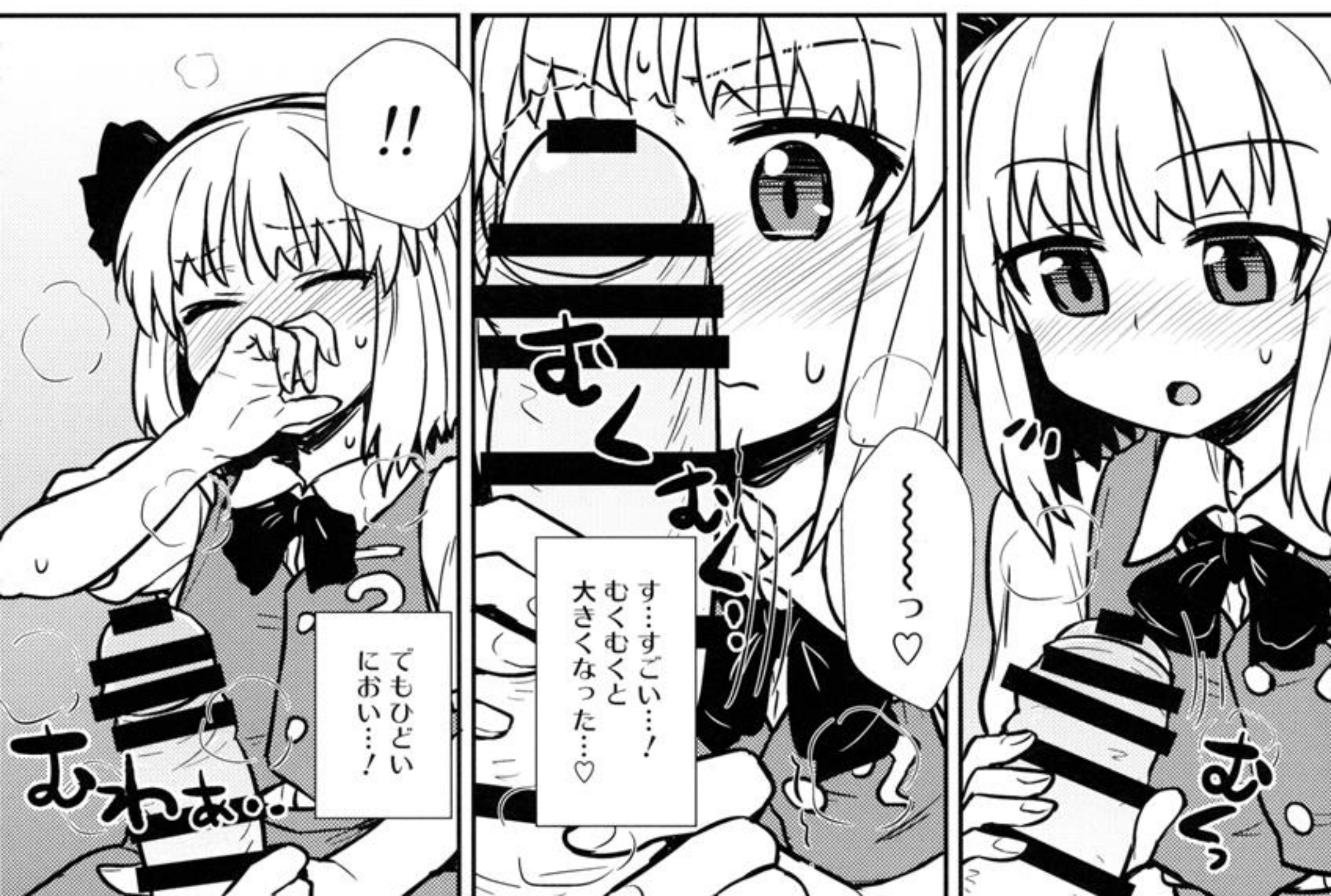
ドキ、ドキ、

さわ、

さわ、

あと、こぼって
ホントに玉?が
入ってるんだ:

ドキ、ドキ、



!!

むし

す:すごい...!
むくむくと
大きくなった...♡

でもひどい
におい...!

あわあわ

♡

あわ

これが
男の人のにおい
なのかな…

正直言って…
くわー…！

…くさいんだけど
…なんだろう

なんて…何度も…
嗅ぎたくなるような
くささなのかな…♡

まだ…
起きないよね…？

あ…味は…

どうなの…
かな…





ここまでしても
起きる気配ないし…
もう少しだけ
踏み込んじゃおうかな…



エッチな漫画で
読んだ時は

なんだか
美味しそうだった
んだけどな…



……



それにしても…
こんな簡単に
エッチなこと
できちゃうとは…♡

お薬って
すごいな…♡

はー

はー

はー

はー

これ…♡
ハマっちゃう
かも…♡♡

はっ!?

しまった…
寝てた…

あちゃー…
悪いこと
しちゃったなあ…

友れの様でしたので
起こさずお暇します。
また遊びに来ます。
お茶とかご馳走様でした。

妖夢



興味がない
というわけじゃ
無かったし

自分はこのいう事に
縁はないと思って
いたんだけど...



少女勉強中...



おにいさんには
悪いけど…

お団子がなくなるまで
差し入れは続けさせて
もらおうかな…♡



—と、思ってたんだけど…

鈴仙！
アレ、めちやくちや効いたよ！

ホント？
よかったー

あんな素晴らしいお団子の味を忘れられる訳もなく…

ドキ
ドキ

出来たら
まとめ買いたか
したいんだけど…

いいよー♪

友達価格で
お安くしとくよ

やった！
ありがとうー♡

あ、あと…
精力剤みたいな
お薬ってある？

なにになに？
ご主人と
夜伽でも？

まあ…
そんなとこ…

これは
すごいよー？

夏に熱中症で倒れてた子供に
ちよいとしたり手違いで
飲ませちゃったんだけど、
その後はもう激しいのなんの♡

子供相手に
ナニしてるの…

ご主人の
相手だったら
生やす薬も
要るよね？

生やさないのに
精力剤使うの？

あ、もしかして…
ご主人じゃなくて
別の人に使う予定とか？

あ、それは別に
大丈夫かな

は…
は…

やだなあ…

そんなワケ
ないじゃん…？

嘘つくの
下手すぎる…



はい、
ツケとくね

どんな人？
付いてっていい？

きよ…今日は
行かないし
使わないから…

ありがと

じゃあ
また…！

うん
またねー

急に急いで…
このあと、すぐ
使いそうだなー



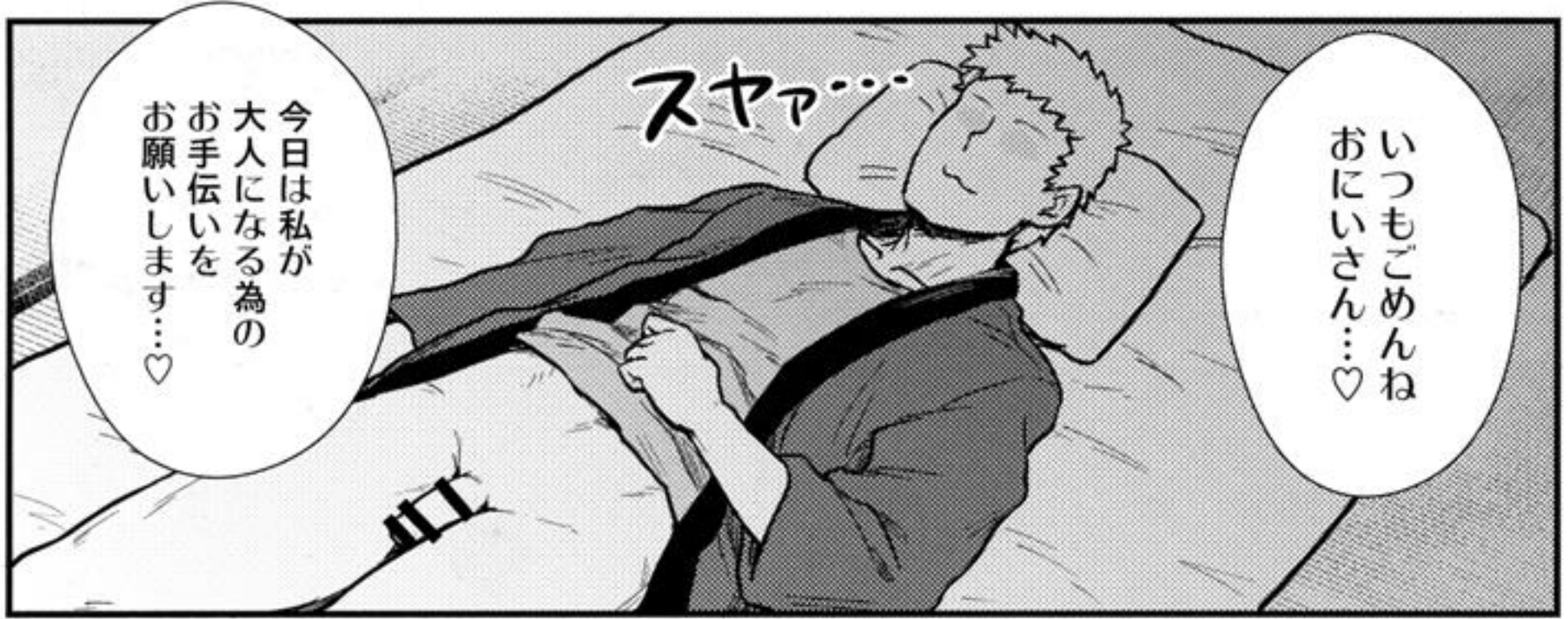


使っちゃった



こんにちはー

あ、妖夢ちゃん いらっしやい



いつもごめんね おにいさん...♡

スヤア...

今日は私が 大人になる為の お手伝いを お願いします...♡



飲んで♡

はぁい♡
ドキ♡



口移して 上手く飲ませ られるかな...?

ゴロ...

今日も妖夢が いっぱいぴゅっぴゅ させてあげるからね♡



はぁい♡
ドキ♡

いままでは
さすがに挿入するのは
ちよっと怖かったけど

最近
半霊で少しずつ
慣らしてきたし…
きつとだいじょうぶ…

せつかく自分のペースで
自由にできるおちんちんが
あるんだから…
こわくないこわくない…♡

よ…よろしく
おねがいします…♡

今日の私は
大人の階段を登って
一人前になるのだ…♡



やった…♡
いっぱい
でてる…♡♡

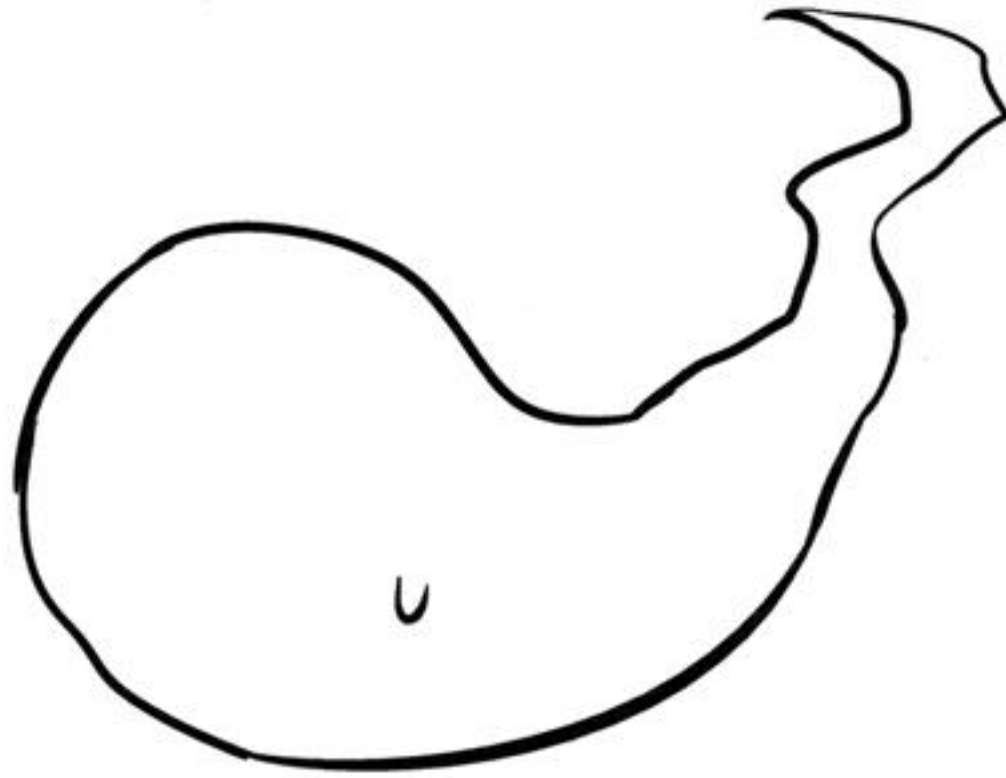
この、びゅーって
させた時の
達成感と優越感…
やっぱり好きかも…♡



あはは…♡
こ…腰が
抜けちゃった…♡



ん…♡



表紙に

半霊忘れました…

(A)

奥付

あとがき

発行日:2016年05月08日
発行 :110-GROOVE
著者 :イトウゆーじ
原作 :上海アリス幻楽団 東方Project

URL:<http://www.r20.7-dj.com/~ug110/>
twitter:ug_110 pixiv:14192

印刷 : みかんの樹 様

俺内部のむっつりスケベランキングで
妖夢が好成績を残したので
こんな本になりました。

この本は東方プロジェクトの二次創作です。
18歳未満の方の購入、閲覧は禁止です。
無断転載、アップロードなども禁止です。

110-GROOVE